

読書活動推進NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



絵本給食 ～檜枝岐小・中学校～

1月17日(金)、檜枝岐小・中学校で行われた絵本給食取材しました。年2回実施される絵本給食では、絵本の中に出てくる食べ物が実際に給食となって登場します。どんな献立になるかは、子供たちの投票で選ばれた絵本次第。今回の絵本給食では、昨年度大人気だった「じごくのラーメンや」が再オープン。新たなメニュー「地獄の蒸しパン」も追加され、子供たちも大喜びでした。

絵本を読んで、おいしい給食を食べて、また絵本が読みたくなる。素敵な取組ですね。

この本の食べ物が給食になりました！

『じごくのラーメンや』

著者: 苅田澄子 出版社: 教育画劇

地獄のえんま様が作ったラーメンが大繁盛！天国からもたくさんお客さんがやってきます。さあ、地獄はどうなるのかな？

メニュー

- ・帰ってきた血の池ラーメン (辛味調整キムチ付き)
- ・地獄の蒸しパン・いちご味
- ・フロッコリーと豆のサラダ
- ・牛乳



自分で辛さを選べるようにしたり、名前にインパクトをもたせたりと、楽しいと思ってもらえる絵本給食になるよう工夫しています。

給食にも本にも興味をもってもらいたいです。(栄養技師)



「じごくのラーメンや」は、読み聞かせをしてもらったことがあるし、自分で読んだこともあります。

ラーメンは普段給食で出ないので楽しみです。地獄の蒸しパンがとても気に入ります。(檜枝岐小児童)

投票の準備、ランチルーム入口の掲示、献立の工夫献立等々、絵本給食が実施されるまでに、たくさんの準備が必要です。図書館教育担当、栄養技師、読書サポートティーチャーが中心となり、学校職員全員が連携して絵本給食に取り組まれていると感じました。学校教育全体で子供たちの読書活動の充実が図られています。



檜枝岐小・中学校では、ひのえまたおはなし会の平野さんが、読書サポートティーチャーとして読書活動の推進や図書コーナーの整備に携わっています。

取材をしていると、子供たちがやってきて読み聞かせの練習が始まりました。小・中学生縦割りでグループを作り、読み聞かせをし合うイベントがあるとのこと。平野さんは、子供たちに頼まれて、休んだ子供の代わりに本をめくるお手伝いです。親しみやすい平野さんの人柄も、子供たちが進んで読書に向かう一助になっていると感じる一場面でした。

また、充実した図書コーナーについて平野さんに伺うと、「担当の先生や子供たちと連携しながら、一緒にコーナー作りをしています。子供たちに目を向けてもらうため、季節のコーナーを作ったり、本の置き方を工夫したりしています。」と教えていただきました。

